



鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2 ~ 3 成人式・消防出初め式
- P 4 ~ 5 むらの話題
- P 6 ~ 7 子どもの成長を支える学校給食
- P 8 ~ 11 お知らせ
- P 12 村民のうごき



役場内にある高倉の葺き替え作業を行ってくれた奄美市笠利町の

「高倉萱葺き技術保存継承の会（山田逸郎会長）」のみなさん【撮影：2月25日】

行事を盛大に開催！！



出席した新成人者全員での記念撮影



新成人者との思い出を語る恩師の先生方



壇上で村民憲章を
読む俊岡れお奈さん



夢や親への感謝の言
葉を述べる新成人者

新成人者十八名が出席し、平成二十五年宇検村成人式が一月四日に、元気の出る館で行われました。

式では、ふじたのりお藤田教夫教育長、もとやまあきら元山公知村議会議長より祝辞が述べられたほか、新成人者全員で「村民憲章」並びに「私たちの誓い」の朗読を行いました。

余興では、会場に訪れた恩師の先生方が、新成人者との思い出を語りながら、お祝いの言葉を述べてくれ

ました。また、村連合青年団がお祝いとして制作した、新成人者の幼い頃からの成長過程を写真で振り返るスライドショーが放映され、新成人者からは小さい頃の思い出を懐かしむ声が聞かれました。

式の終了後は緊張も解け、リラックスしたムードで、久しぶりに再会した友達や家族と、笑顔で記念撮影をする姿が見られました。

平成25年 宇検村成人式



会場には多くの方が訪れ、新成人者を祝った。

新春を飾る二つの恒例

恒例の行事として、年始めに行われている成人式と消防出初め式が、今年も盛大に開催されました。初々しい新成人者の姿と頼もしい消防団員の姿をご覧ください。



パレードで演奏する
園検小の鼓笛隊

手旗信号の演技を披露
する海洋少年団



団員の服装や姿勢などを保池 久消防
団長らが査閲する通常点検の様子



芦検分団と名柄分団の合同チームによる消防「ポンプ車」操法の様子

平成25年 宇検村消防出初め式



消防関係者が一堂に集まり、一月六日に平成二十五年宇検村消防出初め式が行われました。

出初め式は、団員による役場から陸上競技場へのパレードに始まり、通常点検や「奄美瀬戸内海洋少年団」による手旗信号の演技披露が行われたほか、規律とスピードが試される消防操法と全分団による一斉放水が披露されました。

昨年は六月に開催された



全分団による一斉放水



消防庁長官表彰を受賞された松井 辰夫 芦検分団長

第四十回大島支部消防操法大会で、芦検分団と名柄分団の合同チームが「ポンプ車の部」へ出場し、見事に優勝。同部門では二十四年ぶりの優勝となる快挙を達成しました。

元田村長は訓辞のなかで、「今後とも、一致団結されて、村内で、火災、災害等が発生しない、させない、村づくりのため御努力されますようお願い申し上げます。」などと呼びかけました。



わ き や し ま し ゅ ん わ だ い
宇 検 村 の 旬 な 話 題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



賑わいを見せる一周年記念の即売会

うけん市場が一周年を迎える

～ 地場産品の即売会を実施 ～

地場産の農林水産物の販売と、観光情報の発信などを担う「うけん市場」が、一昨年の10月にオープンしてから一周年を迎えました。

昨年12月24日には、設立一周年を記念して、活性化センター「結いの館」駐車場の特設会場において地場産品の即売会が行われました。

「うけん市場」は宇検村観光特産品協会（伊村 廣文 会長）が運営を行っており、現在、市場へ地場産品や加工品を出荷する生産者は100名以上、施設利用者数は年間で2万人を超えました。また、村外の観光客に対しては、観光パンフレットの配布や観光施設の紹介などを必要に応じて行っています。今後は、新商品の開発販売など新たな試みを目指しています。

一周年記念の即売会は当初10月に開催予定でしたが、台風の影響で12月に延期されました。特設会場では、タンカン、大根、インゲン、ブロッコリーなどの果樹野菜のほか、生活研究グループの方々が作った加工品が並び、多くの来場者で賑わいを見せました。



石野田なっちゃんと一緒に記念撮影(5・6年生)

田検小のオリジナル曲が完成

～ 観光大使の石野田なっちゃんと制作 ～

1月25日に宇検村立田検小学校(用 隆也校長)で、宇検村観光大使の石野田^{もちいりゅうや}奈津代^{いしのだ なつよ}さんと児童による歌作りワークショップがあり、保護者の方々を招待して、完成したオリジナル曲の発表会も行いました。

これは文部科学省の事業により行われたもので、本村での歌作りワークショップは4校目となります。今回の歌作りのテーマは「私の夢、君の夢」。5・6年生が中心となって歌詞を考え、1年生～4年生までの児童からも夢についての聞き取りを行い、子ども達の思いがたくさん詰まった「みんなの夢」という歌が完成しました。

体育館で行われた発表会では、5・6年生が石野田さんの伴奏に合わせて歌を披露し、歌を聴いた下級生からは「とても良い歌。」「心が温まった。」などの感想が聞かれました。



完成した歌を下級生の前で披露



むらづくりシンポジウムを開催

～ 地域資源を活かした独自の地域おこし ～

パネルディスカッションで様々な提案をする代表者
 宇検村の将来について考える「むらづくりシンポジウム」が1月27日に元気の出る館大ホールで行われました。シンポジウムは一部で、鹿児島大学の平井一臣教授による地域づくりに関する基調講演があり、二部では宇検村に係る代表者5名が、それぞれの取り組状況などを報告するパネルディスカッションが行われ、参加した約200名の村民の方々が関心を持って聞き入る姿が見られました。

平井教授は「住民が地域を見つめ直し、地域の資源を活かした“物まねではない”独自の地域おこしが大切。」と強調したうえで、「住民が地域づくりに参加する仕組みを作ること、人と人、組織と組織が連携し目的を共有することが必要である。」と話してくれました。

平井教授と代表者からの様々な取り組みの紹介や提言をお聞きすることができ、これからの“むらづくり”のヒントになる、貴重なシンポジウムとなりました。



勲章を授与された故肥後功氏と
 賞状を受け取る遺族の肥後和子さん

このほど、故肥後功氏（元宇検村教育長）が、永年のご功労が認められ、勲章を授与されました。肥後功氏は、永年におたり教育一途に尽力し、鹿児島県教育の充実・振興に貢献されました。その生前のご功績が認められ、今回の受賞となったものです。一月二十五日に元気の出る館において、藤田教夫教育長より遺族の肥後和子さんへ賞状および勲章が伝達されました。

故肥後功氏が叙勲



ロボット操作の実演をする名柄中の生徒

第一回宇検村子どもフェスタ

～ 子ども達による多彩な演目を楽しむ ～

村内の児童生徒が、文化的活動に取り組んだ成果を発表する「第一回宇検村子どもフェスタ」が2月16日に元気の出る館大ホールで開催されました。

村内の各学校が一堂に集まり発表会を行うのは今回が初めてで、会場へは保護者や学校関係者をはじめ、多くの村民が訪れ、子ども達の多彩な演目を楽しんでいました。イベントでは本をたくさん読んだ児童生徒への多読者表彰が行われたほか、各学校オリジナル曲の合唱や島唄、弁論やソーラン節の演舞、落語など様々な発表がありました。

名柄中学校は生徒が競技用ロボットの操作を実演。ロボットを自在に操る姿に、会場からは大きな歓声が上がっていました。

会場内では習字や研究発表などの作品展示もあり、文化的活動による他校との積極的な交流が図られたようです。



展示作品に見入る児童